

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

## 災害発生情報 No.68

2014. 6. 20  
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

### 【はさまれ災害】

業種	道路貨物運送業	経験	9年	年齢	59歳	男女	男性
発生日	発生時刻		16時20分				
発生状況	荷物を積み終え、事務所に伝票を取りに行った帰りに後方からフォークリフトが接近していたため、後方を確認し、振り返った際に積んであった鉄筋に足を引っ掛けて転倒した。						
負傷の程度／部位	右膝蓋骨骨折			休業見込	1か月		

### ◆ コメント

今月は全国安全週間準備期間です。

実施要綱をご覧になった方は気づいたかも知れませんが、今まで上位に書かれていた「リスクアセスメントの実施」が「見える化」等の安全活動より下位に位置づけられています。

「見える化」は業種を問わず適用できること、更にリスクアセスメントのように導入に際してのハードルが高くないことから、今後は「見える化」が安全対策の中心になっていくと思われまます。

「見える化」は労働者への注意喚起に止まりません。「あんぜんプロジェクト」に参加し、会社の安全情報などをホームページに掲載（可視化）することで、昨今話題の「ブラック企業」とは違うということを内外にアピールするチャンスでもあります。

No.66号と併せて「見える化」を進めましょう。



### ◆ 再発防止のアドバイス

- 1 「見える化」により安全通路を明示して、材料置場と区別しておくことと材料がある場所を通らなくなるので、通行時に足を引っ掛ける可能性が減少します。
- 2 フォークリフトの通行場所を決めておき、出入りする業者にも「見える」よう掲示しておくこと、自社労働者のみでなく、外部の人の災害防止にも期待できます。

### 【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事件ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。